

障害のある人の雇用に向けて

人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



「働く」ということは、障害の有無に関係なく、生活基盤の安定に不可欠であるとともに、社会の構成員として参加している喜びを感じる機会でもあります。

障害のある人が事業所に雇用されるケースは、平成14年度以降増加しており、平成23年6月の時点で、全国の民間事業所における障害者雇用率は1.65%まで増加しました。しかし従来より、一定の従業員数を超える事業所には、障害者雇用率を1.8%以上とすることが法律で義務付けられており、来年4月1日から、この基準が2.0%に引き上げられること

が決定されています。

【就労に向けた支援】

このような現状を踏まえ、本市では知的障害のある人を対象に、就労に必要な知識やマナー、コミュニケーション能力を養う講座を開催しています。また、一定の条件で障害のある人を雇用した事業所に奨励金を交付したり、国と協力して、事業所との橋渡しを行うための就職面接会を開催するなど、さまざまな就労支援を行っています。さらに事業所への訪問を行いながら、雇用に関する制度を周知するなどの啓発活動も行っています。

誰にでも働く権利があります。今後も市として、その能力と特性に応じた職に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指していきます。



昨年度の知的障害者就労支援講座の様子

お問い合わせ先
商業勤労課
 (☎354-8175 FAX354-8307)

表紙こぼれ話

今年度の表紙のテーマは、「スポーツで頑張る市民」です。全12回さまざまな種目のスポーツに打ち込む人々をご紹介します。

今回は、昨年インターハイでシングルス・ダブルス・団体の3冠に輝いたテニスの強豪校、四日市工業高等学校テニス部の皆さんに表紙を飾っていただきました。



2年連続インターハイ3冠を目指して、毎日、夜遅くまで一生懸命に練習している選手の皆さん。

今回は、団体戦メンバー5人に、インターハイへの意気込みを聞きました。

■**後藤くん(3年)** 今年は、追われる立場になるが、挑戦者の気持ちを忘れずに、昨年に続き3冠を目指したい。

■**長田くん(3年)** 試合前はいつも緊張するけど、昨年の経験を生かして、2連覇を目指してがんばりたい。

■**戸松くん(2年)** 学校の代表として、正々堂々とプレーしたい。

■**坂本くん(2年)** 徳丸先生のアドバイスを聞いて、一戦一戦、100%の力を出しきって、勝てるようにがんばりたい。

■**山佐くん(1年)** チームが良い雰囲気で試合できるように声を出し、試合ではベストを尽くして、チームに貢献できるようににがんばりたい。



写真前列左から、坂本くん、後藤翔太郎くん、長田と典くん、後列左から、徳丸真史先生、戸松昌伸くん、山佐輝くん

取材後記

爽やかな笑顔で取材に応じていただいた選手の皆さん。ひとたび練習に戻ると、真剣な表情でボールを打ち合う姿は、すごい迫力でした。インターハイ3冠目指して頑張れ！

お問い合わせ先
広報広聴課
 (☎354-8244 FAX354-3974)

有料広告掲載欄

入ってよかった
建労
 四日市支部
 随時加入者募集中

三建国保 組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金(42万円)
 葬祭費(本人10万円・家族7万円)
 高額療養費、施設利用補助、無料健康診断の開催
 人間ドックに対する補助(3万円)
 脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部
 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

四日市市 住宅リフォーム助成制度ができました。
 1件当り助成限度額
 =工事費の20%(上限20万円)

「住まい」のことなら、地域に根をはり、建築活動に長年の実績をつみかさねてきました、建労の組合員に
 =**地元の業者なら安心・お値打ち**=

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 314,338人 [6月末日現在(-234)] ■火災件数 14件 [6月分(+8)] ■交通事故件数 837件 [6月分(-111)] (前年比)